

令和7年度第1回白井市文化会館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和7年7月30日（水） 午後3時00分から午後5時00分まで
2. 開催場所 文化センター2階 かおりホール
3. 出席者 委員 佐藤会長、吉井副会長、白岩委員、中山委員、野口委員、長野委員、鈴木委員、田中委員
4. 欠席者 佐藤（眞）委員、坂巻委員
5. 事務局 井上教育長、高花センター長、佐山主査、金井主任主事、能條主任主事
6. 傍聴者 1人
7. 委嘱状及び任命状交付
8. 教育長挨拶
9. 委員紹介
10. 会長、副会長選任
11. 報告事項 (1) 文化会館自主事業運営方針について（提言）  
(2) 令和6年度事業報告について
11. 協議事項 (1) 令和7年事業計画（案）について  
(2) 大規模改修基本計画策定業務の概要説明と  
市民アンケートの実施について
12. 議 事 以下のとおり

1 会議開催

2 新規委員委嘱及び任命

3 報告事項（1） 文化会館自主事業運営方針について（提言）

（事務局説明）

① 自主事業はなぜ4本になったのか。（委員）

→過去の議会での意見として「市民に対する効果が少ないので廃止すべき」という見解と、「もっとやるべきだ」という見解の両方があったが、これらの議論を踏まえ、自主事業の在り方を検討するために6回にわたり審議を実施し、現状は年間3本から4本程度を実施しており、それが「4本程度」という表現になっている。

（事務局）

4 報告事項（2） 令和6年度事業報告について

（事務局説明）

① 資料3について、自主事業の収支決算は赤字193,551円。企業的視点では「市民のために約20万円を使った」という説明になるので、最終的な収支にある程度の健全性があれば自主事業の本数をもっと増やしてもいいと考える。（会長）

② 資料2-3について、歳出約3,500万円、歳入約1,900万円、差額約1,500万円。文化会館の維持・管理にかかる費用として約1,500万円の支出が前提となる説明が望ましい。これは市に対しての説明も同様にしてほしい。（会長）

③ 資料2-1～2-3について、昨年度の数字だけでなく、前年度との比較を含め、年度ごとの事情を比較し、理由

と対応案を共有できるような資料を設けるべき。そうすることで PDCA（計画・実行・評価・改善）を回す形で、小さな改善も含め、我々有識者の知見を活かして継続的に改善していきたいと思っている。（会長）

④ 資料 4 について、稼働率は大ホール 61%、中ホール 71%で低い水準ではない。（会長）

→補足として、文化会館は年末年始の 6 日間と月曜休館を除くと開館日数は約 300 日。実際の大ホールの利用可能日数は 228 日である。これは保守点検日や打ち合わせ日などを除外して算出しており、利用日数の 139 日はリハーサル等の準備日も含めての日数である。（事務局）

→ウィークデーの夜の利用は少ないと感じているが、実績として土日と金曜日の利用と平日昼間の企業の講演等の組み合わせと考えている。（会長）

→その通りである。平日昼間は中学校の吹奏楽部練習、企業の講演・安全衛生大会、住民説明会などが入るケースがある。（事務局）

→大ホールのコンサートが増やせればという願いがあがる。（会長）

⑤ 平日夜間の音楽祭を仮に実施するにあたり、市役所側の勤務時間と人件費についての懸念があり、実現は可能か。（委員）

→職員については、時間外勤務として費用負担が発生するが実現可能である。（事務局）

⑥ 中学校に体育館が冷房設置されていない現状で、仮に中ホールを部活動で貸し出すということは可能か。（委員）

→中ホールは当初、図書館の視聴覚室として設計されており、大きな音は上下階に漏れてしまうため、一部の楽器については利用を控えていただいている現状がある。中学校の利用については減免で対応しているが、収入面の影響があるため、校長会等で検討し、必要なところを確保するという流れをとっている。（事務局）

→運動が禁止というのは条例等で決められているのか。（委員）

→実績としては、中ホールについてストレッチ等の記憶はある。（事務局）【事務局 補足】運動を禁止する規定は条例には記載されていないが、施設等を損傷するおそれがある場合には、条例第 5 条第 2 項が適用される可能性がある。→そのとおりである。（事務局）

5 協議事項（1） 令和 7 年事業計画（案）について

（事務局説明）

→自主事業運営方針（提言）と比較すると、来年度に向けて自主事業 4 本以上実施してほしい。財政面については補助金等活用していると思う。チラシに加えた宣伝を希望する。ガラコンサートを検討してほしいというのが来年度の課題である。（会長）

→運営方針（提言）については、今年 3 月にいただいた提言であることから、その時点では令和 7 年度予算は策定済みのため、令和 8 年度からの予算に反映されることをご理解いただきたい。（事務局）

① 千葉県警察音楽隊安全・安心コンサートは初夏に必ずあるが実施は固定とみなしてよいか。（委員）

→固定ではない。（事務局）

→比較的声をかけやすくレベルが高い団体は、警察音楽隊、消防音楽隊、自衛隊音楽隊だと思う。（会長）

→警察音楽隊を毎年恒例にするならば、他の団体を含めれば、年 4 回実施できると考える。（委員）

② 自主事業の宣伝方法はどのようにしたか。（委員）

→市の施設にチラシ、ポスターを配布し、白井駅と西白井駅にチラシの配架をした。また市の公式 LINE を活用した。（事務局）

③ 青春輝きライブ 1990 のチケットの進捗状況はどうか。（委員）

→7/29 現在で 520 枚程販売している。（事務局）

- ④ 売上が不調の場合は、自治会を通して大型のマンション等に協力を要請することはできるか。(委員)  
→市のイベントなので自治連合会を介して協力を要請すれば、各自治会に情報伝達できると考える。(委員)  
→自治会に未加入のマンションでも、管理組合が掲示板に情報を掲載している。(委員)  
→自治会を活用すれば、回覧板でほぼ全戸配布の効果があると考え。仮に全戸配布をする場合に発生する費用を考えると、自治会活用が望ましい。(会長)  
→学校でも主催・後援が教育委員会を含む場合、家庭数を基準として告知物を配布でき、周知人数を拡大できる。(委員)
- ⑤ 舞台系の事業は、出演者のスケジュールが先に確定し、呼びたい人を招くのが難しくなる。来年度の自主事業について、運営方針に沿いながら誰を招くのか、どのような事業を実施するのかを、具体的な手立てとして検討する必要がある。(会長)

6 協議事項(2) 大規模改修基本計画策定業務の概要説明と市民アンケートの実施について

- ① 文化センターのあり方に関する方針の一番目に、規模は維持し機能は縮小するとあるが、具体的にはどう考えているか。(委員)  
→具体的には決まっていない。今後の基本計画策定業務の中で検討していく。(事務局)  
→それは予算が組まれた段階で考えていくということになり、開館当初と同等の機能まで復旧するのに概算で38.8億円とされているが、難しいのではないかと。(委員)  
→改修費については決まっていないが、委託しているコンサルタント会社と連携を取りながら予算を示していきたいと考えている。(事務局)  
→縮小する機能を事前にアンケートできないか。(委員)  
→このアンケートは第1案であり、方針に対して自由記述の設問になっているが、なにが重要なのか等、実際に利用している方からの意見が得られるように直す予定である。(事務局)  
→このアンケートだと少数意見が握りつぶされてしまわないか心配である。(会長)  
→今回のアンケートは、ホームページや各センターに設置し、回答を希望する方にご協力いただく形式を想定している。実際の利用者からの回答をもとに、本来の使用実態に合わせて進めていく考えである。(事務局)  
→多様な文化団体の事情から調整が難しく、アンケートの有効性に不安を感じる。(会長)
- ② 大ホールの規模は800席程度の維持でよいのか、増設はしないのか。(委員)  
→座席数は規模を維持する方針である。(事務局)  
→催し物によっては、800席規模では小さいと受け止められる可能性もある。(委員)  
→座席数を増やすには建替えが前提となり得るため、今の方針に基づいて進める考えである。(事務局)  
→建物のフレームは維持し、改修は内装を中心に実施し、身の丈に合った形・使いやすい形へ変更を目指すというのが今回の指針。この前提を共有しておく必要がある。(会長)  
→そのとおりである。躯体を変えない前提のため、大ホールについては改変のハードルは高いと考える。中ホールについては、方針にもある通り、使い方を変えるなどの変更は検討していきたい。(事務局)
- ③ 今後の運営協議委員会の会議の趣旨はどうか懸念がある。例えば、照明や音響の改修の報告に対して適切かどうかを審議する内容になるのか。(委員)  
→機能の縮小について検討していくことになるかと考える。アンケートの結果に対して今後の進め方の方針を示すので、それに対してぜひご意見をいただきたい。(事務局)  
→基本計画策定方針が決まる前に、アンケートの取りまとめが終わり、未決定の段階でも構わないので、メール等で情報共有をお願いしたい。(会長)

- 進め方は事務局で検討するが、なるべく早い段階で結果や案を示せるように努める。(事務局)
- 情報共有を徹底して、市民も職員も納得できる形にしたい。市民から愛される財産として、将来の子どもたち含めて、文化を守るためにも残さなければと強く思っている。(会長)
- 縮小は避けられないとしても、維持できるは範囲を少しでも確保できるよう検討してほしい。(委員)
- 文化センターの大規模改修は、大きな機能の4館(会館、プラネタリウム、郷土資料館、図書館)と共有部分や空調の効率化など総合的に検討していきたい。(事務局)
- ④ 市のピアノ教室から、「中ホールが会議室になるのか」という問い合わせが数件届いている。中ホールは音楽を演奏する場としての機能を確保してほしい。(委員)
- 今後具体的な検討を行い、従来の活用方法を含めて検討する。(事務局)
- この文面からではホールをやめて、会議室や集会室へと用途変更する印象を受ける。(委員)
- 一定の人数を入れて音楽の発表会ができる拠点を無くさないでほしい。(委員)
- 市内のピアノ教室のみなさんにとって、この場所しかないと感じる人は多い。可能な限り柔軟な調整を望む。(会長)
- ⑤ 現在空きスペースになっている喫茶スペースについて、復活することはもうないという前提で動いているのか。(委員)
- コワーキングスペースを含むカフェやレストランの案も検討されている。周辺には病院などが増えている一方で文化センターは日常的に賑わっている施設ではなく、リスクがあるため誘致は難しい可能性がある。エリア全体の活性化を見据えた検討を進めたい。(事務局)
- 現在はスペースについては年間契約だが、時間貸しや一日貸しができるように条例の変更を提言する。(会長)
- ⑥ 催し物があるときだけでも循環バスを文化センターの前の通りに導入できないか。演奏会を開催した際、知人が駅から距離があるという理由でタクシーを呼んだ経緯がある。(委員)
- 中心都市拠点の検討のほうにも意見を出していきたいと考えている。(事務局)
- 川口市のスキップシティ映画祭は、期間限定で駅から無料の市民バスが走っている。問題点は、どの催事に対しても開演・終演時間をバスの時間に合わせる点になってしまう点である。(委員)
- 駅からの距離は物理的に仕方がないが、距離を遠く感じる理由は、道案内がなく看板がないためである。道路の床表面にタイルを敷いて経路を示すなどの案を都市整備の中で合わせて検討してほしい。(会長)
- 検討する。(事務局)

## 7 会議閉会